

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)														
ET46J013		心理療法特論(Advanced Psychotherapy)					臨床心理学														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員															
選択	2	1・2	大学院教育学 研究科	前期集中		氏名 菊池清美 E-mail 内線															
授業の概要	医療機関における心理臨床業務の中で診療報酬点数化されている数少ないプログラムの一つである集団精神療法について学ぶ。集団精神療法の実践では個人心理療法と比較して、世を超えて受け継がれた傾向を含んだ人間のより深い心理状態への理解だけでなく、集団構成員間の関係性や集団全体の力動への理解も必要となる。集団精神療法の理論学習に加え、事例による学習、実際の集団精神療法への参加体験を通して、共感的理解と経験力の涵養を目指す。また演習により構造化された集団精神療法を運営できることを目指す。																				
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	Genogram作成と分析により、家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について概説できる。																				
目標2	精神力動的体験グループへの参加によって、対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程を説明できる。																				
目標3	医療現場における集団精神療法事例を通して、支援を要する者の特性や状況に応じて適切な支援方法を選択・調整する。																				
目標4	集団精神療法の歴史、概念、意義及び適応について概説できる。																				
目標5	いくつかの集団精神療法のConductorおよびCo-Conductorを体験し、人の態度及び行動について様々な理論を用いて説明できる。																				
目標6	集団精神療法への参加や演習を通して得られた自己の心理状態について、適切に記録、報告、振り返りを行うことができる。																				
目標7																					
目標8																					
目標9																					
目標10																					
授業の内容																					
1 オリエンテーション：心理療法の中の集団精神療法の役割、集団精神療法技法を習得する意義について説明する。現時点の自己理解についてレポート作成する。																					
2 Genogramの作成と解説：まず自分のGenogramを作成する。家族療法の様々な理論を用いてGenogramの一般的な解説を行う。																					
3 Genogramの分析と自己理解：自分のGenogramを分析し、自分自身への影響を考え、レポートを作成する。																					
4 集団精神療法の基礎知識の解説：個人心理療法と集団精神療法の相違点及び集団精神療法の基礎知識を説明する。																					
5 体験グループ(セッション1)：精神力動的体験グループに参加する。																					
6 体験グループ(セッション2)：精神力動的体験グループに参加する。																					
7 体験グループ(セッション3)：精神力動的体験グループに参加する。																					
8 体験グループ(セッション4)：体験グループConductorからグループの経過について対象関係論的視点より解説を加える。																					
9 体験グループ(セッション5)：精神力動的体験グループの体験を振り返り、報告・共有し、討論を行う。																					
10 実践的集団精神療法(SST,心理劇、構成的エンカウンター)の基礎知識の解説。																					
11 グループ演習：SST(Social Skill Training)のConductor及びCo-Conductorとして集団精神療法を運営する。																					
12 グループ演習：心理劇のConductor及びCo-Conductorとして集団精神療法を運営する。																					
13 グループ演習：構成的エンカウンターグループのConductor及びCo-Conductorとして集団精神療法を運営する。																					
14 性被害によるPTSD患者の集団精神療法：医療現場での特殊なグループの経過を説明しその配慮や工夫を、演習した実践的集団精神療法との比較で検討する。																					
15 グループ・ディスカッション、レポート作成：授業を通して得られた自己理解の共有し、その後、レポートを作成する。																					
ラック ニ ン グ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	見学、傍聴、グループ参加体験 レポート作成、ディスカッション、ピアレスポンス グループ演習				工夫 その他	3回のレポート作成により、授業を通して自己理解が深まる様子を体験する。														
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修 事後 学修	配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する(15h)。授業外の失策行為等の自分の言動及び夢を書き留める(3h)。 授業で学習したことを活かし、より自己理解を深める。Genogramを家族親族から聞き取り完成する(20h)。3回のレポートや配布資料を用いて復習する(10h)。																			
教科書	指定しない。授業中に配布するプリント小冊子を使用する。																				
参考書	講義の中で紹介する他、必要に応じて指示をする。																				
成績 評 価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10									
	Genogram分析(レポート)	10%																			
	精神力動的体験グループの体験の振り返り(ディスカッション)	10%																			
	グループ演習	20%																			
	医療現場事例と実践的集団精神療法との比較(ディスカッション)	20%																			
レポート	40%																				
注意事項	必要に応じて指示する。																				
備考	なし。																				
リンク	なし。																				
	URL																				

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	臨床心理士
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無	
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、児童心理治療施設・施設長、精神科病院臨床心理士、スクールカウンセラー
実務経験を いかした教 育内容	保健医療、福祉、教育等の分野の施設での心理臨床業務の経験から、より実践的で様々な支援者に対するさまざまな種類の心理療法(集団精神療法)に関する講義を行い、演習を指導し、また、精神力動的グループに学生が参加することで集団療法の実際を体験する。